

記者発表資料

^{かみさと}
R2上里地区外交通安全対策工事において
『公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)』を
関東地方整備局の道路事業で初めて試行します。

併せて「難工事指定」の採用及び「間接工事費実績変更方式」
「見積活用方式」「施工箇所が点在する積算方法」を試行します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。今回発注する「R2^{かみさと}上里地区外交通安全対策工事」については、「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」の試行及び「難工事指定」の採用を行うとともに、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じていることが予想されることから、以下③～⑤を試行します。

① 「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。今回、関東地方整備局の道路事業で初めての試行となります。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

② 「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事(試行)」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

③ 「間接工事費実績変更方式」

本工事は、運搬費・安全費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

④ 「見積活用方式」

本工事は、市街地であり現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながら交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

⑤ 「施工箇所が点在する積算方法」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を試行します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所 電話 048-669-1200(代)

副所長(技) ^{わたなべ} ^{ただし}
渡邊 正 (内線205)

交通対策課長 ^{たいら} ^{てつじ}
平 哲治 (内線471)

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R2上里地区^{かみさと}外交通安全対策工事
- (2) 工 事 場 所：埼玉県児玉郡上里町神保原町地先^{さいたまけんこたまくんかみさとまちしんぼはらまち}～勅使河原地先^{てしがわら} 外
- (3) 工 期：契約締結の翌日から令和3年3月26日まで（予定）
- (4) 入 札 方 式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工 事 種 別：アスファルト舗装工事 A+B
- (6) 工事内容（概要） 事故対策
切削オーバーレイ工 約5,200m²、薄層カラー舗装工 約120m²、
小型標識工 約10基、区画線工 約5,500m
交差点交通安全対策
透水性舗装工 約440m²、ブロック舗装工 約120m²、
路側防護柵工 約50m、車止めポスト工 約130本
構造物取壊し工 約430m²、運搬処理工 約16m³

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）について》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《難工事指定について》

○難工事指定

本工事は、交通量が多い現道上での夜間作業、交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工になることから厳しい安全管理が必要であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《間接工事費実績変更方式について》

○実績により変更を行う工種

- ・ 共通仮設費（率分）のうち、安全費及び運搬費

○実績により変更を行う理由

本工事施工箇所は、交通量も多く、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連坦している箇所です。そのため、交差点内やその周辺の交通、沿道店舗等の出入り、及び歩行者の安全を確保しながら施工しなければならず、交通規制帯をこまめに分割して施工しなければならないことから、安全費について標準歩掛と乖離が想定されます。

また、沿道全域に店舗・住宅等が連坦することから、施工箇所周辺に資機材置き場の確保が困難であり、その都度の資機材搬入が必要となるため、運搬費において標準積算と乖離が想定されます。以上の点より、間接工事費実績変更方の対象項目として「安全費」「運搬費」と対象とします。

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

- ・ 直接工事費のうち、透水性舗装工、路側防護柵工、構造物取壊し工、運搬処理工

○見積の提出を求める理由

施工箇所は、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連坦し交通量も多い箇所です。施工にあたっては、現道交通及び沿道店舗等の出入り、かつ、歩行者等の通路を確保しながら限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならないから、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《施工箇所が点在する積算について》

○施工箇所が点在する積算

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を試行します。

《スケジュール》

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ○入札公告、入札説明書 交付 | : 令和 2年 7月 6日 (月) |
| ○競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限 | : 令和 2年 7月20日 (月) |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | : 令和 2年 8月26日 (水) |
| ○開札日 | : 令和 2年 8月31日 (月) |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

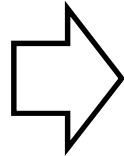
対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

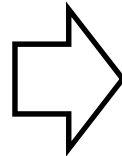
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)

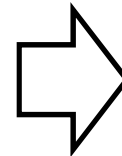


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



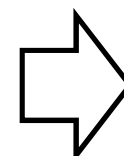
参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名
4/4

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上